

# かわぐち

2005. 6月号 No.380

## 今月の主な内容

- 地区震災復興委員会で話し合われた  
意見や提案ほか……………2~3
- 小高地区集団移転先決定……………4
- 一人ひとりの心がけて環境を守ろう ……5
- 児童手当等の支給内容ほか……………6
- 川口町職員募集要綱ほか……………7

ほか



### 深谷市から届いたこいのぼり 元氣と希望をのせて泳ぐ

4月23日から5月6日、川口小学校と東川口保育園、西川口保育園で約250匹のこいのぼりが爽やかな風をいっぱいを受けて雄々と泳いでいました。

これは埼玉県深谷市赤十字奉仕団と南魚沼市赤十字奉仕団が協力し、被災した当町の子どもたちを元気づ

けようと深谷市を中心に集め、取り付け作業を行ったものです。

きっかけは昨年11月に深谷市、南魚沼市両奉仕団が川口小学校で「煮ぼうとう」の炊き出しを行い、その後同校の桑原昭校長が深谷市で講演会を行うなど交流を深めたことからです。

子どもたちは友だち同士で「あのこいのぼりがいい」と言って大喜びしていました。

## かわぐち歴史探訪 ③7

### 長岡藩主のお国入り7



▲江戸から須川までの行程

川口宿に関連した研究をご紹介します。  
(4) お国入りの行程  
普段大名行列でも朝早く出発する。「お江戸日本橋七つ立ち初上

り品川辺りで提灯消す」と歌われているように、七つ立ちが定番であった。「暮れ六つ泊まりの七つ立ち」と言う言葉も残っている。暮れ六つは夕方6時、七つは朝4時のことである。  
江戸上屋敷を出発する時にはそうも行かないので、奥方や御子達、留守番の江戸家老以下大勢の家臣のお見送りを受けて出発する。以後1日に10里ほど歩く日々が続く。  
江戸から長岡までは大変遠い。武鑑によれば「江戸より越後国古志郡長岡城下へは、三国通り76里19丁、信州通り94里余り、奥州若松通り112里余り」と記されている。長岡藩では最短経路の三国街道を通っていた。最短経路は急な坂道が続きものである。  
江戸表を出発した藩主一行は平坦な武州の中山道を2日で通過し、3日目は三国街道の渋川宿に泊る。

4日目は徐々に上り坂が続く須川宿泊りであった。  
険峻な峠越えの道は重要な街道であるため時々旅人に出会う。その都度押足軽が「下に、下に」と声を出す。その声を聞いた旅人は道の端に避け躡るの姿勢を取り、行列が通り過ぎるのを待つのであった。躡るの姿勢とは腰を屈め、頭を深々と下げることで、当時の人々の常識であった。  
あえぎ登る三国の山々に、駕籠の掛け声と馬の吐息やひずめの音だけが聞こえ、物悲しくなるような静寂な道が続く。  
いまこの旧道を歩いてみても「幾山河こえさりゆかば寂しさのはてなむ国ぞけふも旅ゆく」と言う若山牧水の詩が、しみじみと思い出されるような山道である。人家も無いこの三国の山道は、昔よく追いはぎが出たと恐れられた道でもあった。  
(佐藤 栄)

## あとがき

▼日差しが徐々に強くなり、暖かい日が続きます。山が青みを増すほどに地震で崩れた斜面がより際立って見え、一層地震の爪あとを生々しく映し出しています。誰もが忘れることのできない震度7の体験。今後の糧として安全で安心して暮らせる住み良い町に復興していくため、忘れてはいけない経験です。▼震災に負けない子どもたちの笑顔は、私たちに元気を与えてくれます。広報かわぐちでは元氣なかわぐちっこを紹介していきますので、希望の方はご連絡ください。



▶崩落した十八番の斜面

# 地区震災復興委員会

## 活発な話し合いが行われました

町内11地区に設置された「地区震災復興委員会」が4月19日から5月6日まで相次いで開催されました。委員会では、延べ161人が参加し、様々な意見・提案が出されるなど活発な話し合いが行われました。この委員会です話し合われた内容などをお知らせします。



▲中山地区でのワークショップ

第1回の地区震災復興委員会（東川口は2回目）では、「震災直後の家庭や地域での対応」、「震災後の復興に向けた提案」の2項目に分けて話し合いました。各地区で共通することや、地域固有の課題など様々な意見や提案がありました。

### 震災直後の家庭・地域での対応

震災直後家庭の中で機能したこと  
多くの家庭で家財道具が倒れ、避難用具や履物を取り出せないまま家を飛び出した方が多かったようです。そんな中で、  
・発電機が使えた(田麦山他)  
・自動車のカーナビでテレビ

が見ることができ、情報を得ることができた(牛ヶ島他)  
・黒電話があり通話できた(和南津)  
など、停電時に電気を必要としない備品等が機能したようです。  
また、避難先では夜の冷え込みの厳しい中で、  
・灯油のストックがあった(和南津他)  
・プロパンガスを使用(中山)  
・電気を使わない石油ストーブが使えた(西川口他)  
など、避難先でも電気を必要としない燃料や器具が役に立ったようです。

震災直後家庭の中で機能しなかったこと  
・ガソリンが不足した(貝之沢他)  
・風呂がなく困った(牛ヶ島他)  
・ペットの世話ができず困った(和南津他)  
など、地震発生直後の数日は必要なくても徐々に必要となってくるものが出てきました。

震災直後地域の中で機能しなかったこと  
・トイレが不足した(西川口他)  
・集会所が地震で使えなかった(田麦山他)  
・公園、広場がなく避難所がなかった(和南津他)  
など、地域住民全員が使える

が、電池がなかった(相川他)  
・携帯電話が通じなかった(木沢他)  
通信の中心となっている携帯電話が全く使えないことにより、緊急連絡や家族との連絡に支障が出ていた事が浮き彫りになりました。  
震災直後から数日経った中では、  
・被害情報が流れなかった(中山)  
・ガソリンが不足した(貝之沢他)  
・風呂がなく困った(牛ヶ島他)  
・ペットの世話ができず困った(和南津他)  
など、地震発生直後の数日は必要なくても徐々に必要となってくるものが出てきました。

震災直後地域の中で機能しなかったこと  
・安否確認が班や近所で行い合えてよかった(荒谷他)  
・消防団が活躍した(相川他)  
・地域に技術を持った人が多くいて助かった。(田麦山他)  
など、地域のコミュニティが取れている当町では、地域で助け合いながら、避難生活をしていくことが伺えます。  
また、避難所などでは、  
・地域の商店から食材などを分けてもらった(木沢他)  
・畑の野菜を出し合って使えた(中山他)  
・釜や薪を持っている家が多く助かった(相川他)  
など食事の面でも地域で助け合っていたようです。

震災後の復興に向けた課題  
地区の課題(家庭の中では)雪解け直後における参加者の家庭や生活面での意見としては、自宅の再建や、農地、農道、水路の復旧など当面の復旧が主な課題として挙げられました。このほか  
・緊急用燃料の備蓄(田麦山)  
・電柱の地中化(中山)  
・災害時井戸水の確保(牛ヶ島)など、防災に対する課題も意見が出されました。

## 震災復興計画について ご意見をお寄せください

昨年10月の中越地震から7か月が過ぎ、雪どけとともに住宅や商店の再建をはじめ道路、農業基盤、ライフラインなどの本格的な復旧工事も始まりました。震災復興計画はこれらの復旧事業はもちろんですが、今後の復興のあり方や復興後を見据えたまちづくりの方向を町民の皆さんと共に考え進めていくもので、今後10年間の具体的な復興事業を進めるための指針となります。

震災復興対策本部では、9月の計画策定を目指してその検討を行ってまいりましたが、このほど中間骨子素案がまとまりましたので町民の皆さんにその概要をお知らせします。骨子素案の内容についてご意見、ご提案をお寄せください。

### ○震災復興計画のイメージ

★震災を契機に生まれた  
・新たな交流  
・ふるさと意識の見直し  
・地域のよさの再発見など

**震災**

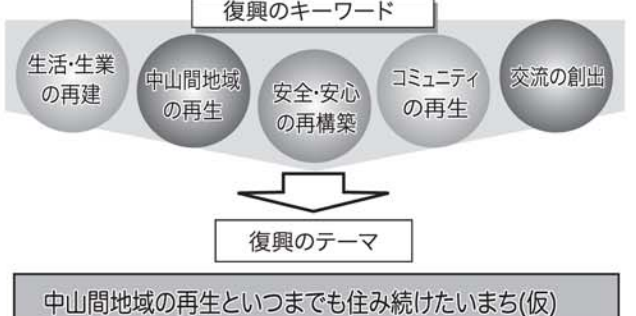
★復旧のとりくみ  
ライフライン、住宅再建、都市基盤整備など当面のまちづくりの推進

★「復興」へのとりくみ  
・生活の再建とコミュニティの再生  
・地震、水害、雪などの災害に強いまちの実現  
・農業を中心とした産業の振興、継続する町へ など

**《震災復興計画の主な項目》**

- 復興の基本方針  
・復興に向けた具体的な取り組みの方向や内容を示します
- 復興重点プロジェクト  
・復興への「きっかけ」となり具体的な取り組みをリードしていくための施策・事業を示します
- 地区別復興計画  
・町内11地区に分け、地域ごとの復興への取り組みの方向や内容を示します

### ○復興のテーマ



1日も早い復興に向けて様々な事業の円滑な推進とともに、震災を契機に当町の現状を見つめ直しその特性を最大限に生かしてさらなる発展による「中山間地域の再生といつまでも住み続けたいまち(仮)」を目指します。  
※詳細は広報かわぐち6月号と同時配布の概要版をご覧ください。概要版に添付の専用はがきをご利用ください。川口町ホームページにも掲載しています。  
問い合わせ 震災復興対策本部復興計画策定班  
TEL 89-3112

・鎮守様や神社の復旧(中山他)  
・伝統行事や祭りの再開(和南津他)  
・墓地の復旧(荒谷他)  
など、地域の生活やコミュニティの基盤の復旧について意見が出されました。

地区の課題(町全域では)  
今回の震災で国道17号・117号・高速道路とすべての幹線がストップしたことから、災害に強い道路や鉄道の整備について多くの意見が出されました。また、仮設住宅

の用地として小、中学校のグラウンドが使用されていることから、グラウンドの代わりとなる場所の確保を要望する意見も多く出されました。このほか  
・買物物が不便なので早く東川口に商店を復旧して欲しい(西川口他)  
・温泉施設を早く復旧して欲しい(中山他)  
・若者が定住できる企業の誘致(荒谷他)  
など、地域の再生についても様々な意見がありました。

1回目の地区復興委員会では、地震後の地域の現状や課題を主に話し合いました。2回目の地区復興委員会では、地域の復興にはどのようなことが大切なのか、また、何が必要なのかを話し合う予定で

ご意見、ご提案などがありましたら、次回の地区復興委員会(6月中旬頃)までに、地区の復興委員の皆さんに意見をお寄せください。  
企画商工課  
☎ 89-3112

## 「災害公営住宅入居希望のアンケート」を出してください

3月初旬から災害公営住宅地区懇談会を行いました。この懇談会で住宅計画や皆さんの意向を把握するために「災害公営住宅のアンケート」を配布しましたが、提出期限を左記のとおりとしますので、提出していただけない方及び新たに入居を希望する方は期日までにご提出ください。また、すでにアンケートを提出済みの方で内容に変更のある方はご

連絡ください。  
締切日 6月30日(木)  
問い合わせ 建設企業課  
☎ 89-3114

※災害公営住宅  
中越大地震で家屋が全壊し、住宅の自力再建が難しいという方のために平成17年度から2年間で建設するもので、「住み慣れた地域に住みたい」などの、地区や入居希望者の意見を聞いて、地域コミュニティを守るために各地区での建設を予定しています。

# 小高地区集団移転先 西川口岩出原地内に決定

中越大震災により、大きな被害を受け、現在も避難勧告が出されている小高地区（25世帯）は、昨年11月町に対し集団移転の要望を伝え、さらに今年2月移転希望地を西川口岩出原地内として、用地確保を町に要望してまいりました。

それを受け町では、用地取得や造成、公共施設整備への補助、移転先での個人住宅建築に対する利子補給など有利な「防災集団移転促進事業」により集団移転を進めるため、昨年12月から事業の説明



会や懇談会を重ねると共に、各世帯に対する意向調査を実施し、地域の意見や要望の把握に努めてまいりました。

一方、用地の選定にあたっては、住み慣れた地域を苦渋の決断により離れること、地域のつながりを大切にし集落コ

ミュニティを守り育ててきたことを考慮し、集団移転が将来の集落発展につながるような場所を検討、用地の事前交渉を進めてまいりました。

その結果、この度西川口岩出原地内の(有)たちばな食品裏側にある用地を、過去に工場用地として造成してあることや位置的にも集落コミュニティを形成しやすいことなどにより、集団移転先として決定したものです。

この集団移転先には、5月に行った第2次意向調査で、18世帯が移転を希望しており、町では、今後、防災集団移転促進事業の採択要件である小高地区の災害危険区域の指定や、事業計画の協議などの手続き完了後、今年夏頃に住宅団地の造成工事に着手し、来年10月までには全ての移転が完了できるような事業を進めていく予定です。

問い合わせ 企画商工課  
☎ 89-3112

# 一人ひとりの心がけて環境を守ろう

## 6月は環境月間、6月5日は環境の日です

昨年の震災による家屋解体などで不要となったごみの野焼きや不法投棄など環境悪化を招く事例が多く見つかっています。私たちの生活にやさぎと潤いを与えてくれる四季折々の環境を守るため、まずは私たちの日常の暮らしを見直し、身近な環境から守っていきましょう。

**日常生活の中で環境を守る**  
今日の環境は、住民一人ひとりが「自分たちで守る」という意識を持ち、日常生活の中で、環境に配慮した行動を

心がけ、実践していくことが大切です。

○野焼きは絶対しない  
震災直後、多く苦情が寄せられたのが、野焼きによる煙



○ごみの分別をきちんと守る  
家屋の解体や清掃に伴い、ごみの量が増えつづけています。昨年と比較して、4月分は燃やすごみが2倍、粗大ごみは3倍もの量が出されました。それに比例して、分別していないごみや町で収集して積場に何日も放置されたケ

野焼きをすると…  
懲役3年以下又は3百万円以下の罰金又はその併科に処せられます。

※例外の事例  
風俗習慣上又は宗教上の行事、たき火又は日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であつて軽微なものは認められています。

の苦情です。ダイオキシン類排出削減対策と廃棄物の適正処理の観点から、現在、廃棄物の野焼きは原則として禁止されています。また、焼却炉の構造基準に適合しないものは使用できません。

## 震災復興支援イベント 津軽三味線演奏会

きだりんしょうじ 木田林松次社中 中越地震慰問公演

### 北國の響き

津軽三味線奏者 木田林松次さんを会主とする木田栄会の名取会の皆さんが、津軽三味線の演奏会を開催します。名取会30人による迫力ある演奏もあり、激しくも繊細に奏でられる津軽三味線の醍醐味をご堪能ください。

日時 **6月19日(日)** 13時30分～16時  
会場 **生涯学習センター**  
問い合わせ 企画商工課 ☎ 89-3112



スが増えています。ごみを出すときは、配布された「ごみの分け方」をよく見て、正しく出すように心がけてください。

分類や出し方がわからない場合は役場生活福祉課まで問い合わせてください。



▲農機具は粗大ゴミとして回収できません。農協が許可業者に問い合わせください。有料です。

### 生ごみ処理機の購入費を補助します

町ではごみ減量化対策として、町民が購入する生ごみ処理容器に補助金を交付しています。購入価格1万円までは50%補助(限度額3千円)、1万円を超えるものについても50%補助(限度額3万円)をしています。

生活福祉課に交付申請書と実績報告書がありますので、購入後1か月以内に申請してください。



問い合わせ 生活福祉課  
☎ 89-4418

### クリーン作戦の参加 ありがとうございました

5月8日午前8時から、今年で8回目となるクリーン大作戦が町内一斉に行われました。

今年は雪解けが遅く、5月に入ってからの実施になりましたが、子どもからお年寄りまで多くの住民の方から参加していただき、たくさんのごみが集まりました。

例年と異なり、たばこの吸殻や空き缶の他に、消火器や家電製品が震災の影響もあって多く回収されました。皆できれいにした町ですから、今後はポイ捨てや不法投棄をしないように地域ぐるみで心がけましょう。

# 児童手当等を支給します

児童を養育している方には、左表のとおり手当が支給されます。  
申請された月の翌月分から支給されますので、該当する方は早めに手続きをしてください。なお、これらの手当には所得制限があります。

また、手当を受給されている方は、毎年「現況届」を提出しなければなりません。この届は、児童手当などを引き続き受給する要件があるかを確認するためのものです。児童手当受給者は6月中に、児童扶養手当、特別児童扶養手

当受給者は8月中旬に提出していただきます。  
※児童手当(6月期)は6月10日に指定の口座に振り込みます。  
なお、個々への支払通知は発送しませんので、預金通帳などでご確認ください。  
問い合わせ 生活福祉課  
☎ 89-4418

## 児童手当等の受給要件

手当名	受給要件	支給額
児童手当	満9歳到達後最初の3月31日までの児童を養育している方で、第1子から支給。(所得制限あり)	第1子 月額5,000円 第2子 月額5,000円 第3子以降 月額10,000円
児童扶養手当	満18歳到達後最初の3月31日までの児童(満20歳未満で中度以上の障害を有する児童を含む)で、次のいずれかの状態にある児童を扶養している母または養育者。 ①父母が離婚した児童 ②父が死亡した児童 ③父に1年以上遺棄されている児童 ④父が法令により1年以上拘禁されている児童 ⑤父の生死が明らかでない児童 ⑥父が重度の障害を有する児童 ※平成15年4月1日において5年を経過している場合は請求できません。(所得制限あり)	児童1人 月額41,880円 児童2人 月額46,880円 児童3人 月額49,880円
特別児童扶養手当	精神又は身体に政令で定める程度の障害を有する満20歳未満の児童を扶養している父母または養育者。(施設入所していないこと、児童が重度の障害を理由とする公的年金を受けていないこと) (所得制限あり)	1級 月額50,900円 2級 月額33,900円

# 川口町職員を募集します

町では、平成18年4月採用予定の職員を次のとおり募集します。地方自治の推進に意欲のある方の応募をお待ちしています。総務課に詳しい募集案内と申込用紙がありますので、必要な方はご請求ください。

### 応募資格

- ・一般事務職(上級) 若干名  
昭和51年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた方及び昭和59年4月2日以降に生まれた方で4年制大学を卒業した方。
- ・保育士(中級) 1名  
昭和53年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた方で保育士免許を有すること。

試験日 7月24日(日)  
第1次試験

### 試験会場

長岡市立南中学校

※第2次試験は第1次試験合格者へ通知します。  
申込期限 6月24日(金)  
申込方法 所定の申込用紙により役場総務課までお申し込みください。(郵送の場合も期限までに必着とします。)  
問い合わせ 総務課 ☎ 89-3111  
FAX 89-2110

## 行政相談員に山田博さんが再任されました

山田博さん(原新田)が、総務大臣から行政相談委員に再任されました。

行政相談委員は、国の仕事、国が県や市町村に委ねている仕事について、町民の皆さんからの意見や要望などを受ける重要な役割を担います。皆さんと行政との橋渡しを役割とする身近な相談相手です。お気軽にご相談ください。



相談日 毎月第1木曜日  
9時から正午(末広荘)  
※相談は無料で、秘密は固く守られます。

## ハローワークが農業者転職相談員を設置しました

小宮山豊彦さん(新敷)が中越大震災により、農業に従事しながら仕事探しを始める方、雪解け後の農地の被害状況から一時的に転職を希望される方を対象とした「農業者転職相談員」として配置されました。

相談員がハローワークとの連絡係として町内を巡回しますのでお気軽にご相談ください。



相談員 小宮山豊彦(新敷)  
☎ 89-2851  
問い合わせ ハローワークおぢや ☎ 82-2441

## 「まちの保健室(健康相談)」をご利用ください

「まちの保健室」は、県看護協会が主体に実施している健康相談です。

震災前は、温泉施設で毎週実施していましたが、現在、仮設住宅の集会所などを利用して、地区の方々からの健康相談を受け付けています。

体や心の事でちょっと気になる事や悩んでいる事など…何でも気軽に相談できます。

相談にあたるのは、県看護協会に所属する近隣の医療機関等に勤める経験豊かな看護師、保健師、助産師です。匿名でも受け付けています。(秘密は固く守られます)お気軽にご利用ください。なお、日程は新聞折込等で別途お知らせします。

問い合わせ 末広荘 ☎ 89-2359



## 高齢者の運転免許証の更新手続きが一部変更になります

これまで運転免許証の更新(書き換え)は、全ての方が長岡免許センターまで出向いて手続きをしなくては行けませんでした。6月1日から、高齢運転者(満70歳以上)に限り、小千谷地区交通センター窓口でも手続きが出来るようになります。

問い合わせ 小千谷地区交通センター ☎ 82-1770  
小千谷警察署 ☎ 83-0110

## 2005年農林業センサスにご協力を!

5月下旬から農林業センサス調査員が対象者の自宅や事業所へ、聞き取り調査と調査票の配布に伺っています。調査員は連絡長を主体に地区の方をお願いしています。調査の実施には、対象者のご協力が不可欠です。調査へのご協力をお願いします。

問い合わせ 企画商工課 ☎ 89-3112

## 中越大震災被災者の公共職業訓練の受講を支援します

就業が困難な被災者の公共職業訓練の受講を支援するため、訓練受講期間中、「訓練手当を支給する」制度です。訓練期間中の生活を保障するため、平均月額11万円から13万円程度が支給されます。

対象者 就業が困難な被災者の方  
が、ハローワークの指示により公共職業訓練を受講する場合で、雇用保険失業給付等の支給を受けられない次の①、②のいずれかに該当する方です。  
① 災証明を受けている世帯に属する次の方  
・ 障害者、母子家庭の母等の方  
・ 45歳以上の方  
② 中越大震災災害指定地域内で就業していた方で、震災により離職した方  
・ 事業所等で雇用されていた方  
・ 自営業者、家族従業者、農林漁業従事者  
手当の内容  
訓練を受講する期間、受講日数及び通校に要する経費に応じて支給されます。  
(月21日訓練を受講した場合、平均的なケースで月額約11万円〜13万円程度)

※公共職業訓練とは、就職に直結した実践的な技術・技能を身につけるため、職業能力開発促進法に基づき、国、都道府県、市町村及び独立行政法人雇用・能力開発機構の施設が実施する訓練です。県内では県立テクノスクール4校(新潟・上越・三条・魚沼)、独立行政法人雇用能力開発機構3校(新潟・長岡・新発田)で実施しています。

問い合わせ  
ハローワークおぢや ☎ 82-2441  
魚沼テクノスクール ☎ 025-794-2410

# HOT ピックアップ

身近な情報を  
お寄せください!

企画商工課  
TEL 89-3112

## 東京を巡る自転車イベント旅行に参加

4月16日、17日、東京デイズニールランドと、バイシクルライド2005イン東京に町内小中学校の児童・生徒合わせて49人が参加しました。これは災害にあった子どもたちを慰労するため、プレデンスナル生命保険・社会貢献委員会が招待したものです。



1日目は東京デイズニールランドで思いっきり楽しみ、2日目はバイシクルライドに挑戦しました。バイシクルライドとは自転車で皇居の周り約22キロを、東京の名所を見ながら巡るイベントです。子どもたちはゆっくと景色を楽しみながら気持ち良さそうに自転車を走らせていました。



## 町の食と元気をアピール えちご長岡

### 広域観光フェアに参加

5月21日、22日、横浜赤レンガ倉庫イベント広場で行われた「えちご長岡広域観光フェア」で町の山菜、農産物加工品、笹だんごなどを販売し川口の食をアピールしました。

また町の元気をアピールするため、もちつき体験を行い、子どもや若者などの多くの来場者が参加し、もちつきを楽しみました。このつきたてのもちはおいしいと大好評でした。



## おいしい団子ができました 保育園児が

### よもぎだんご作りを体験



5月10日に東川口保育園で、13日に西川口保育園でもよもぎだんご作りをしました。

西川口保育園では年長の園児たちが土手へ散歩に出かけた時に摘んできたよもぎを使い、園児のおばあちゃんに手伝ってもらいながら、だんごを作りました。

毎年実施している保育園児を対象とした交通安全教室が5月24日に西川口保育園、31日に東川口保育園で行われました。

## 保育園で 交通安全教室実施



## 自転車事故を未然に防ごう 町内小学校で 自転車教室実施

4月25日に田麦山小学校、5月18日に川口小学校、5月19日に泉水小学校で自転車教室が行われました。

これは児童たちに正しい自転車の運転技術や交通ルールなどを身に付けてもらい、交通事故を未然に防ぐために行われたものです。

児童たちは震災でデコボコになった道路を自転車で慎重に運転しながら、自転車の乗り方や交通ルールなどを学びました。



## 震災復興支援イベント

### 迫力の和太鼓集団 「鼓童」公演

(5月16日、川口中学校)

佐渡を拠点に国際的な活動を行っている和太鼓集団「鼓童」の皆さんが和太鼓、三味線、胡弓などを披露しました。

会場を訪れた町内小中学校の児童生徒と一般来場者、合わせて約500人は、平胴太鼓など迫力ある8曲の演奏に圧倒されました。

また太鼓体験では、児童たちが叩く桶胴太鼓に合わせて来場者全員で手拍子し盛り上がりました。



### NEVER GIVE UPコンサート ～深川富岡八幡「葵太鼓」～

(4月30日、田麦山小学校)

深川富岡八幡「葵太鼓」の皆さんが、「蘇れ、美しき郷・中越」の思いを込めて和太鼓の演奏を披露しました。和太鼓を打ちながら踊る「彩り」をはじめ、合わせて6曲を演奏。心打つ勇ましい太鼓の響きに来場者は元気と勇気をもらいました。



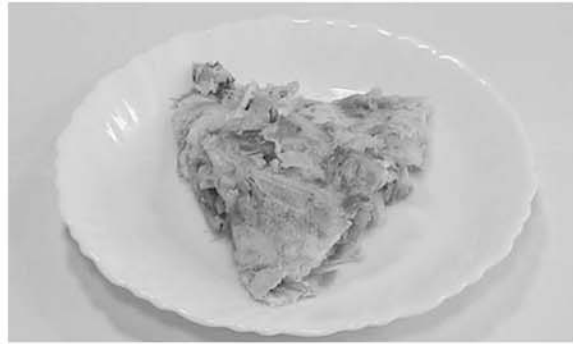
### ～中越大震災チャリティーLIVE～IN川口町 明日への力 (あすへのちから)

(4月27日、交流体験館)

「旅系SOICHIROバンド」、桑名シオンなどのアーティストたちが当町の早い復興を祈り、ライブコンサートを行いました。思いが込められた歌の数々に会場全体は盛り上がり、熱気に包まれました。

### 元気モリモリ コンロひとつでアイデア料理

#### キャベツと桜えびの卵とし



春キャベツはビタミンCも多く、甘味があり、柔らかくてとってもおいしいです。

今回はこのキャベツでお好み焼風卵焼きをつくります。

#### ●材料 (2人分)

- キャベツ……………3枚
- 干桜えび……………大さじ1
- ごま油……………小さじ1
- 卵……………2個
- 塩……………少々
- こしょう……………少々

#### ●作り方

- ①キャベツはザク切りにする。
- ②フライパンにごま油を熱し、焦がさないようにキャベツをよく炒める。
- ③火が通ったら桜えびを加え、塩・こしょうで味を調える。
- ④③全体に溶き卵を流し込み、弱火で焼く。
- ⑤卵に火が通って固まったら裏返し、両面焼く。食べ易い大きさに切り分けて皿に盛る。

「コンロひとつでアイデア料理」は  
食生活改善推進委員が紹介しています



右から  
佐藤クニ枝 (川口6) ☎ 89-2881  
真島 靖子 (相川口) ☎ 89-2249



### 元気です！かわぐちっこ 94

大久保 美穂 ちゃん (川口3・2歳)

おとうさん 英晃さん おかあさん 美千代さん



▲バレエをする美穂ちゃん

ちょっとはすかしがりやの美穂ちゃんですが、踊りが好きで童謡などの歌に合わせて陽気に踊ったり、バレエのまねをして周りを楽しませてくれます。いつもは絵本を見たり、積み木をして遊んでいます。晴れた日には元気に外で遊ぶ美穂ちゃんでした。両親から：心やさしい子に育ててほしいです。

### 俳句

大内迪子先生選 公民館句会 (4月13日)

○轟々と春奏でをる雪解川  
○あたたかや米寿を過ぎし母のあし  
春耕の見通したたず地震の後  
眠るには勿体なき夜の雪明かり  
今日よりは市となる村の春の風  
あたたかや忙しと言ひつ話しこむ  
帰去来茎立つ村へ牛つれて  
春日や屋根の雀らにぎやかに  
落の薑震災に負けずと顔を出し  
大空に道ある如く鳥帰る  
地震後の山に芽吹きのはひして  
再会の友の手の老い余寒かな  
食べごろを又も逃して露の薑  
記念樹の桜のもとに友と会ふ  
墓標なき彼岸詣りや地震の後  
山肌を掻きむしりたる大雪崩  
老たちの溢れる笑顔花見バス  
鯉のほり被災の空に泳ぎをり

- 佐藤 信
- 藤田 節子
- 石坂 シゲ
- 岡村 和子
- 覚張 次郎
- 上村 たつお
- 鈴木 良仙
- 星野 きの
- 星野 千恵子
- 丸山 トシ
- 丸山 好枝
- 三輪 京子
- 村山 京子
- 目黒 せつ
- 森山 菊江
- 山田 菊江
- 山田 久子
- 渡辺 登子

#### ■次会のお知らせ

6月7日(火) 生涯学習センター  
5句投句 投句締め切り 午後1時

皆さんのページです。投稿をお待ちしています！  
企画商工課 ☎89-3112

## みんなの広場

### 町少年野球チーム親善試合 練馬区北東リーグと 町少年野球チームの交流

5月4日、練馬区の少年野球選抜チームが町少年野球チーム「川口ファイターズ」と親善試合を行いました。これは中越大震災で被災した町少年野球チームを激励するため、練馬区北東リーグ、光が丘ライオンズクラブが主催したものです。



試合は、地震被害により当町のグラウンドが使用できないため、湯沢町中央公園で行いました。川口ファイターズは惜しくも勝利することができませんでしたが、子どもたちは久しぶりの試合に嬉しそうにのびのびと駆け回りました。試合終了後、子どもたちはお互いに「がんばってください」、「がんばります」と声をかけあい笑顔で握手を交わしました。

当町で行われたセレモニーでは、「町の子どもたちに元気になったもらいたい」と光が丘ライオンズクラブからボールや記念メダルが、町には義援金が贈られました。また北東リーグの子どもたちが街頭募金で集めた義援金が川口ファイターズに贈られました。

### みんなで住み良い地域にしたい

江島 健吉 (牛ヶ島)



震災から復興へ向かって動き始めた川口町。震災体験と復興に向けて自分なりにがんばっていききたいことなど、思いを込めて書いていただきました。

地震当日は、会社から帰って翌日に予定していたゴルフのクラブを手入れしていました。急に大きな衝撃があり、最初は地震とは思わず家に何かがあつたのではないかと思いましたが、棚の物が全部落ちてきたので急いで外に走りだしました。

家の前の広場には隣近所の人たちが集まり、それぞれの家族の所在を確認し合いました。みんなが無事であることが確認できたので、とりあえずは安心することができました。避難生活では各々の家から暖をとるための薪、衣服、

### わたしの復興への願い

震災から復興への思いを綴る

米や野菜などを持ち寄ったので、最低限の物資は確保することができました。みんなで協力、分担し屋根の瓦の撤去やブルーシート張り、炊き出しなどをしました。地震では大きな被害を受けましたが、この避難生活で近所の仲間意識が強くなったことは、私にとって大きな宝になりました。これからは震災で精神的に大きなダメージを受けている方が多くいるので、ケアをしつかりしてほしいと思います。

私は自分の家を早く100%直すことと、地域の人々が出ていかないような住み良い地域づくりがんばっていききたいと思います。

☎ 89-3112